

開業まで2年

新幹線と北海道

▶▶2

二次交通整備



函館空港の滑走路で離陸へ動きだしたHAC機。函館と道東を結ぶ便の復活に期待も出ている=今月13日

「流水を空からも見られるようにしたい」。1月26日夜、網走市のホテルの夕食会場。あいさつに立った同市の水谷洋一市長は、函館と札幌の旅行業関係者が主催した3日間のモニターツアーの一環だ。

空路復活に期待

函館空港の滑走路で離陸へ動きだしたHAC機。函館と道東を結ぶ便の復活に期待も出ている=今月13日

JR北海道のダイヤ改正 特急車両の出火など事故やトラブルが相次いだJR北海道は、特急の減便・減速を柱とするダイヤ改正を昨年11月1日に実施。車両の負担を減らすためだった。正常時のダイヤに比べて特急の運行本数を1日最大14本減便、最高速度は130kmから

10~20%減速し、輸送力は大きく低下した。1日1往復だった札幌~函館間は7~9往復に変更。このうちJRが統計を取っている室蘭線苫小牧~東室蘭間の乗客数は、昨年12月実績で前年同月比16%減。今月15日のダイヤ改正でも減便・減速は継続した。

しめるようになら付加価値が高まるのではないか。水谷市長はそう提案した。「道南で流水は見られる」と話す。

函館と札幌の旅業関係者ら約30人に語りかけた。北海道エアシステム(HAC)の函館~女満別・釧路線再開の可能性を探るため、道網走市は北海道新幹線で

10~20%減速し、輸送力は大きく低下した。1日1往復だった札幌~函館間は7~9往復に変更。このうちJRが統計を取っている室蘭線苫小牧~東室蘭間の乗客数は、昨年12月実績で前年同月比16%減。今月15日のダイヤ改正でも減便・減速は継続した。

函館と札幌の旅業関係者ら約30人に語りかけた。北海道エアシステム(HAC)の函館~女満別・釧路線再開の可能性を探るため、道網走市は北海道新幹線で

恩恵波及 乗り継ぎが鍵

連携し、既存の交通ネットワークをフル活用することが大切になる。高速道路の早期整備も重要」と訴える。

とはいえ、一次交通の充

実で鍵を握るのは、やはりJR北海道だ。昨年11月のダイヤ改正で一部運休した函館~札幌間の特急は再開の見通しが立たず、道央と道南を結ぶ大動脈は著しく遅延が発生。桂観光部長は「道南からの移動手段がないと、遠くの観光地にまで旅行者の関心が向かなくなる」と、新幹線効果が道南や道央圏にどまつては逆に道内観光の地域格差が広がりかねない」と危機感を強めている。

十勝管内では昨年7月、

十勝バス(帯広)の呼びか

けで路線バスやタクシーを

併用して管内の観光地を巡

る67コースの割安パック商

(交通計画)は「地域間で

連携し、既存の交通ネット

ワークをフル活用すること

が大切になる。高速道路の

早期整備も重要」と訴える。

とはいっても、JR北海道の

ダイヤ改正で一部運休した

函館~札幌間の特急は再開

の見通しが立たず、道央と

道南を結ぶ大動脈は著しく

遅延が発生。桂観光部長は「

道央と道南の移動手段が

ない」と危機感を強めている。

北海道新幹線の開業は、

JR北海道にとって大きな

変化となる。JR北海道は

これまで、JR北海道の

運営によって、JR北海道の

運営によって、JR北海道の